

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-152	15-311	慶應義塾大学
題名 (原題/訳)		
Adults with mild to moderate depression exhibit more alcohol related problems compared to the general adult population: a cross sectional study. 軽度から中等度のうつ病の成人は一般成人集団に比較してより多くのアルコール関連問題を示す：断面調査		
執筆者		
Åhlin J, Hallgren M, Öjehagen A, Källmén H, Forsell Y.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2015 Jun 9;15:542. doi: 10.1186/s12889-015-1837-8.		
キーワード		PMID:
うつ病、アルコール関連問題、プライマリケア		26051511
要 旨		
<p>背景： アルコール摂取はうつ病の治療の干渉になることが示されていた。しかし、飲酒習慣は通常のプライマリケアではスクリーニングされない。現在までわずかな研究しか患者の飲酒習慣とうつ病を一般集団と比較してこなかった。本研究の目的はスウェーデンでプライマリケアでうつ病と診断された成人と一般の成人集団との間の飲酒習慣を比較することである。</p> <p>方法： スウェーデン国内のプライマリケアの設定で、物質使用の障害歴なしで、軽度から中等度のうつ病と診断される 946 例の患者に、Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT) 試験を施行した。うつ病の患者でのアルコール消費習慣とアルコール関連問題について調査し、一般の成人集団 (n=663) のそれらと比較した。分析は、性と年齢まで層化した。</p> <p>結果： アルコール問題の評価と危険な飲酒とビンジ飲み (不節制飲酒) の測定では、一般集団と比較してプライマリケアにうつ病のために治療を求めてきた患者の間で有意により高かった。男性うつ病患者は、一般集団の男性より AUDIT 総量と AUDIT-C (消費) サブスケールにおいて、より高い得点であった。若い成人 (17-27 歳) と比較して、年齢の高いうつ病の成人 (28-50 歳と 51-71 歳) は、飲酒量が多くアルコールに関連問題もより高率であった。</p> <p>結論： 一般の成人集団と比較して、プライマリケアでみる軽から中度のうつ病患者では、飲酒量とアルコール摂取に関連問題は実質的により高かった。プライマリケアでのうつ病を呈している患者にアルコール摂取についてルーチンのスクリーニングを行うことが推薦される。</p>		